

「先端融合研究環」の設置について

(英文名：Organization for Advanced and Integrated Research)

I 目的・必要性

神戸大学が、新たな大学ビジョン「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へ」を実現するためには、学長のリーダーシップの下、先端研究・文理融合研究を更に推進できる体制を構築する必要がある。そのため、文理の枠を超えた分野融合研究プロジェクトを推進する「先端融合研究環」を設置し、新たな学術領域の開拓、研究成果の社会実装等を推進する体制を整備することで、重点分野の「選抜－育成－交代」サイクルを構築する。

II 組織概要

1. 役割

(1) 全学の文理融合及び分野融合研究の推進

これまで、それぞれの分野で個別に活動してきた、「自然科学系先端融合研究環」、「社会科学系教育研究府」及び「統合研究拠点」を再編統合し、学術研究推進機構の下に新たに「先端融合研究環」を設置することにより、学長のリーダーシップによる文理の枠を超えた一体的かつ戦略的な先端融合研究を推進する体制を構築し、その研究成果の社会実装を目指す。

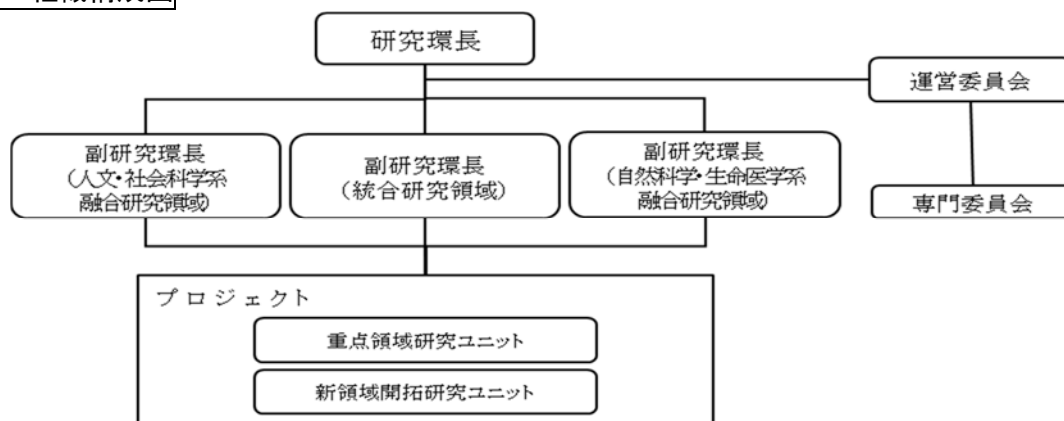
(2) フラッグシップ研究の推進と育成

本学のフラッグシップとなる先端研究・融合研究を推進する「重点領域研究ユニット」と、そのインキュベーションのための分野融合型の「新領域開拓ユニット」の2つの階層に分けて、それぞれの性質に応じたプロジェクトベースの研究を推進することで、新たな学術領域を開拓する。

2. 設置の時期

平成 28 年 4 月 1 日

3. 組織構成図



※ 初代の先端融合研究環長は、現在の自然科学系先端融合研究環副研究環長の藏重久弥教授が就任予定。

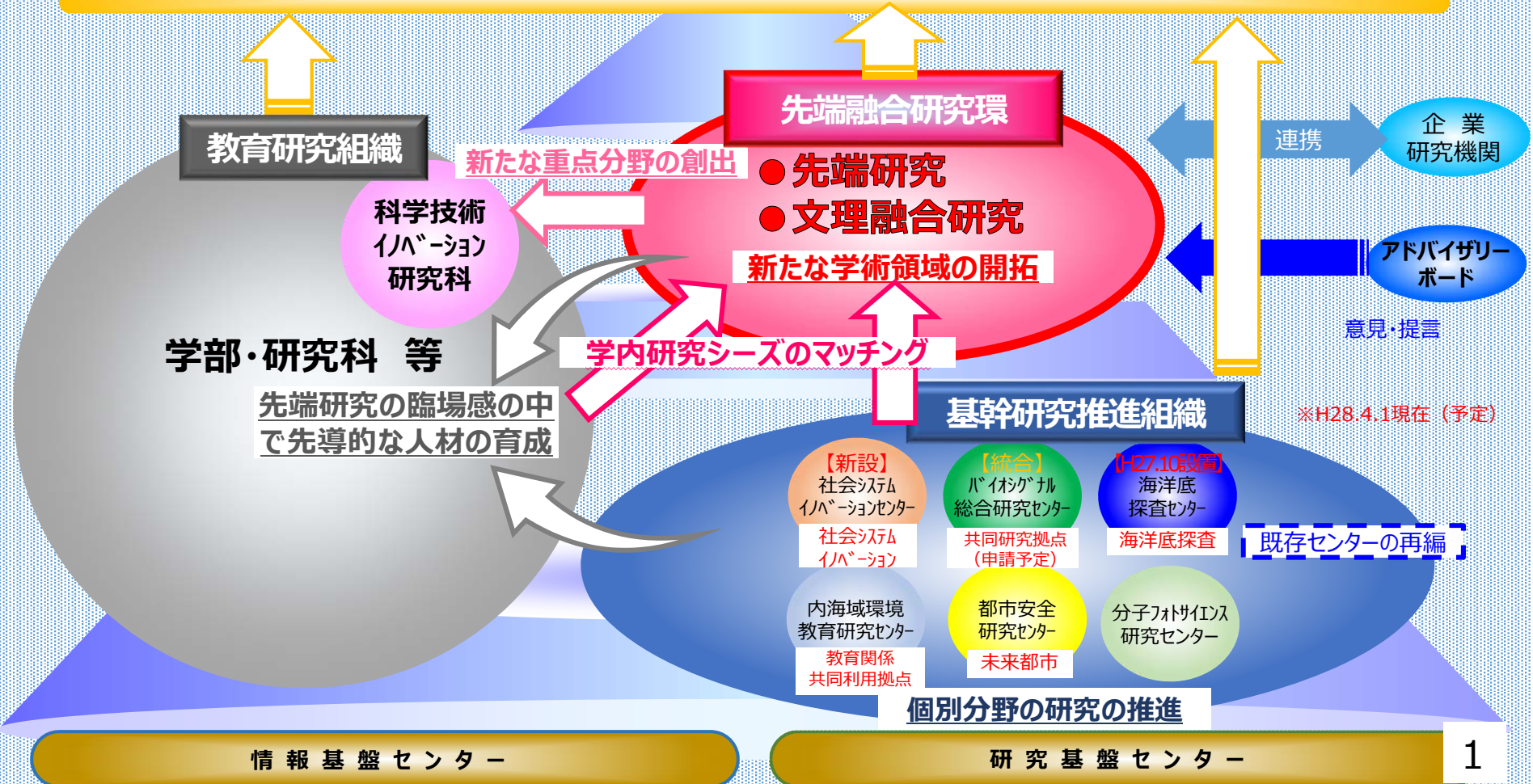
先端融合研究推進体制の概要

趣旨

「武田ビジョン」を実現するため、学長の強力なリーダーシップの下、「先端研究・文理融合研究」を進め、重点分野の「選抜－育成－交代」サイクルを構築し、常に新たな学術領域を開拓し続ける体制を整備。

- ① プロジェクトベースの研究を行う「先端融合研究環」を設置し、全学の先端・融合研究を更に推進（成熟したプロジェクトはセンター化）
- ② 本学の基幹となる研究を行う組織を「基幹研究推進組織」として整備し、生み出される学内研究シーズのマッチングにより、新たな学術領域の開拓を促進

社会実装・学術成果の創出・創造的な人材の育成



「先端融合研究環」の概要

2つの研究ユニット (KOBEX²) により、既存分野を横断した「分野融合」・「文理融合」によるプロジェクトベースの研究を戦略的・一体的に推進。

KOBEX² X1 本学のフラッグシップとなる分野融合による優れた先端研究 (excellent)
X2 本学のフラッグシップとなり得る分野融合による非凡な研究 (extraordinary)

